
出られない！ 出たくない！

でんでろ 3

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出られない！ 出たくない！

【Nコード】

N8126Y

【作者名】

でんでろ3

【あらすじ】

この物語は、こたつから出たくない男の心の葛藤とその行動を、つぶさに記録した感動虚編である。

なお、同ハンドル名で他サイトにも投稿していることを許して欲しい。

「地球に住む人々は、魂を重力に引かれて飛ぶことができない」と、クワトロ・バジーナ大尉は言った。今、私も言おう、

「こたつに入った人々は、魂を温^{ぬく}さに惹かれて出ることができない」と。

テレビのチャンネルはリモコンで変えられる。便利である。しかし、食糧（スナック菓子）も水（といっても清涼飲料水）も尽きた。……私は、このまま死ぬのか？

いや、特に待っている人はいないとはいえ、こんなところで死ぬわけにはいかない。基地（台所）に行けば、予備の食糧があり、補給が可能だ。

問題は、誰が取りに行くか、だ。戦力を分析しよう。この隊の隊長である私は考える。しかし、考えるまでもなく、初めから他の隊員などいない。私。この隊の構成員全て。なんて孤独な戦いなのだ。戦力に続いて、戦況を分析しよう。今、私は、こたつの中という安全地帯にいる。しかし、その周りとは言えば、酷寒の冷凍地獄が取り巻いている。さらに、戸を1枚隔てた台所は、それ以上の寒さであることは、想像に難くない。

くそう。こんなことなら、全ての食糧を手の届くところに置いておくんだった。誰だ、太るからこれだけにしておこうなどと言ったのは！……私だ。

確かに、これ以上食べるのは、太るというリスクを伴う。積み重なれば、やがて経済不安も引き起こしかねない。しかし、あと少しあと少しだけ食べたいのだ。やらずに後悔する方が、やって後悔するより、その度合いは大きいと言っではないか。（誰が言ったか知らないが）

やる。やってやる。決意を新たにしたが、問題はその方法だ。

そのとき、宇宙戦艦ヤマトの沖田艦長のセリフが蘇った。古代進

に硫酸の海に潜れと言う沖田艦長。古代が、「ヤマトがとけてしま
います」と言うつと、

「5分や10分でなくなるものでもあるまい……とけきる前に鉾脈
をさがしだして、波動砲で撃て！」
と言うのだ。

そうだ。これは、電気こたつ。だが、電源の供給が断たれても、
すぐさま、こたつの内部温度が下がり切ってしまう訳ではない。

私は、電気こたつ内の熱源ユニットからコードを引き抜いた。ア
ンビリカルケーブル無しでも、しばらくは動ける。私は、こたつの
中に潜ると亀のようにそれを背負い、四つん這いで歩きだした。台
所へ出ようとして、こたつが戸につかかって、それ以上進めない
ことに気付く。ええい！ ままよ！ どのみち立たなければ食糧は
取れないのだ。私は、意を決して素早くこたつを出ると、戸棚から
瞬時にカルビーのポテトチップス（コンソメパンチ）をチョイスし
てひつつかむと素早くこたつの中に潜り込んだ。とうとうこたつか
ら出てしまったが、家臣のために瘴気マスクを外したナウシカのよ
うなものだ。誇りに思え。そう言い聞かせた。

先ほどと逆の行程をたどり、無事元の場所に収まると、すぐさま
熱源ユニットにコードをつなぎ直した。やった。私は、生還したの
だ。

そのとき、あることに気付き愕然とした。……トイレに行きたく
なっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8126y/>

出られない！ 出たくない！

2011年11月24日01時53分発行